

2018年9月25日

## 日本内部監査協会「会長賞（内部監査優秀実践賞）」を受賞

第一生命保険株式会社（社長：稲垣精二、以下「当社」）は、2018年9月25日、一般社団法人日本内部監査協会（会長：伏屋和彦氏）が主催する「第52回内部監査推進全国大会」において、「第32回会長賞（内部監査優秀実践賞）」を受賞しました。

日本内部監査協会は、法人会員2,497社、個人会員5,798名（2018年8月末現在）から構成され、内部監査の普及・発展を通じ、産業・経済の健全な発展に資する活動をすすめている一般社団法人です。

本年度32回目を迎える会長賞は、1987年に創設され、「内部監査が制度的に充実し、かつ長期にわたり内部監査活動が継続して積極的に行われ、成果をあげ、内部監査の普及・発展に貢献している企業・経営組織体」に授与されています。

日本内部監査協会の審査委員会（委員長：檜田信男氏）による審査を通じ、当社は「高齢化・少子化に伴う保険環境の激変下で、多くの経営課題に即応するような監査を実施し、企業としての社会的責任を果たすように貢献していること」などが評価され、このたびの受賞に至りました。

当社は、創業以来の経営理念である「お客さま第一主義」に基づき、内部監査の高度化はもとより、コーポレートガバナンスの強化に努めることで、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えていきます。